

一般社団法人

文化財保存修復学会

第 32 回大会 in 岐阜

2010 年 6 月 12 日 (土) / 13 日 (日)

長良川国際会議場

ご 案 内

(セカンドサーキュラー)



2010 年 4 月 20 日

文化財保存修復学会第 32 回大会実行委員会

【後援】

中日新聞社

文化財保存修復学会第 32 回大会および 2010 年度総会のご案内

文化財保存修復学会の皆様、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

第 32 回大会並びに 2010 年度総会が岐阜の地で開催されるはこびになりました。長良川と金華山や岐阜城を有する自然と文化の豊かなこの地域で、文化財保存修復学会第 32 回大会が開催できることを一同心より喜びと歓迎を申し上げます。また、本大会は文化財保存修復学会が一般社団法人として新たなスタートを切って行う最初の記念すべき大会です。

会員の皆様方の最新の情報発信の場、保存修復のあり方に向けた活発な討議の場として、実りある成果が得られるようふるって参加して頂きたいと思っております。

文化財保存修復学会第 32 回大会実行委員会

1. 大会 (研究発表)

年月日： 2010年6月12日(土)・13日(日)

会場： 長良川国際会議場 (岐阜市長良福光 2695-2)
口頭発表/メインホール、ポスターセッション/市民ギャラリー及びホワイエ

2. 総会

年月日： 2010年6月13日(日) 11:30~12:30

会場： 長良川国際会議場・メインホール

3. 機器等展示

年月日： 2010年6月12日(土)・13日(日)

会場： 長良川国際会議場・市民ギャラリー及びホワイエ

4. 懇親会

年月日： 2010年6月12日(土) 18:00~20:00

会場： 長良川国際会議場 4階・大会議室

会費： 5,000円(事前振込) 6,000円(当日)
(定員 250名 ※お早めにお申し込みください)

5. 参加登録費

種 別	事前振込 (5/31迄)	当日払
会 員 (一般)	3,000円	4,000円
会 員 (学生)	2,000円	3,000円
非会員 (一般)	6,000円	7,000円
非会員 (学生)	3,000円	4,000円
賛助会員 1団体3人まで	各 3,000円	各 4,000円
4人目から	各 6,000円	各 7,000円

※当日の受付は混雑が予想されます。参加登録費はなるべく事前振込で納入くださいますようお願いいたします。

- 1) 同封の郵便振替払込用紙をお使いください。[郵便振替口座 00110-2-445396 文化財保存修復学会大会実行委員会]
- 2) 懇親会に参加される方は、懇親会費も併せてお振込みください。
- 3) 振込まれた参加登録費、懇親会費は返金いたしませんのでご了承ください。
- 4) 事務手続の都合上、賛助会員以外は郵便振替払込用紙1枚につき必ず1人でお申し込みください。
複数枚必要な方はお手数ですが郵便局備え付けの郵便振替払込用紙(青色)をご利用ください。
- 5) 振込み期限(5月31日(月))を過ぎてのお振込みは事前登録の扱いをいたしません(当日受付時に差額をお支払いいただくこととなります)。くれぐれもご注意ください。

6. 総会出欠届

総会に出席できるのは名誉会員、正会員です。名誉会員、正会員の方は同封の出欠届を5月25日までに投函ください。ご欠席の場合は必ず委任状に署名、捺印のうえ、送付を重ねてお願いいたします。

7. ご注意

- ・ポスター発表は6月12日(◆P001~058)と6月13日(◇P059~117)に分かれます。日にちをお間違えないように、また、掲示作業、撤去作業は必ず所定の時間内に終わるようにご協力をお願いします。
- ・ゴミは各自でお持ち帰りいただくようご協力をお願いします。

ご宿泊等について

- ・大会会期中、岐阜市内の宿泊施設は同週末に開催されます「第30回全国豊かな海づくり大会 ぎふ長良川大会」の影響で大変な混雑が予想されます。ご宿泊はアクセスの便利な名古屋方面もご検討ください。
- ・公共交通機関も大変な混雑が予想されます。当日はお時間に余裕を持っておでかけください。
- ・会場の周辺に飲食店はほとんどございません。昼食は予めご用意ください。また、数量限定ではありますが、両日会場にてお弁当の販売（1,000円前後）も予定しております。

研究会「ミュージアムと保存 ―身近なことから、ところから―」（仮題）

【開催趣旨】

岐阜県を中心として、この東海三県にはそれぞれ博物館協会があり、330館以上の博物館、資料館、美術館が加盟をしています。いずれの加盟館にも学芸員がおり、日々資料や作品を扱い、その保存管理に苦慮しているわけですが、近年、その活動の諸条件はますます厳しいものになっています。このような状況下で重要な資料や文化財をまもってゆくには、文化財の保存に関わる者すべてが、まずお互いの状況を理解し合い、相互に協力し合う努力をし始める必要があるのではないのでしょうか。

東海地区での開催が初めてとなる第32回大会では、こういった博物館、資料館、美術館の現場に目を向け、プレイベントのテーマと致しました。岐阜、愛知、三重の県博物館協会のご協力を得て、保存管理の現場で、日頃、学芸員が直面している問題はこういったことなのか、またそれらの問題に対し、現場ではどのような智慧やアイデアで解決する努力をしているのか、現場の実情を探ってみることとします。

【主催】 一般社団法人文化財保存修復学会

【共催】 岐阜県博物館協会 愛知県博物館協会 三重県博物館協会（予定）

【日時】 2010年6月11日（金）13:00～17:00

【会場】 長良川国際会議場 5階 国際会議室

【定員】 80名

【申込方法】 各博物館協会と調整中のため、お申し込みの受付は5月21日より開始いたします。

専用ホームページよりお申し込みください >> <http://www.kuba.co.jp/taikai32/event/>

【プログラム】 ※プログラムは予告なく変更となる場合がございます。

13:00～13:05 「開会挨拶」 大会実行委員長 若宮多門（岐阜県博物館協会会長）

13:05～13:40 「ミュージアムと保存 ―身近なことから、ところから― 明治村の取り組み」
西尾雅敏（博物館 明治村）

13:40～14:05 「アンケート集計結果報告」（事前に3県の博物館協会を通じ、アンケート調査を実施）
可児光生（美濃加茂市民ミュージアム）

14:20～15:50 「事例報告」（アンケートの集計結果により内容や講師を変更します）

・お金がない！「身近なものが博物館保存に」

田村哲（愛知県陶磁資料館）

・専門知識がない！人手が足りない！「NPO法人やボランティア活動等、館外の協力者」
長屋菜津子（愛知県美術館）

・海外ではどうしているの？「アメリカの大きな美術館・小さな美術館」

井口智子（名古屋ボストン美術館）

16:00～16:55 「ディスカッション」 司会進行：田中善明（三重県立美術館）

パネリスト：井口智子・可児光生・田村哲・長屋菜津子・村上隆

16:55～17:00 「閉会挨拶」 大会実行副委員長 村上隆（京都国立博物館）

【問い合わせ先】 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-15 UEDA ビル 6F（株）クバプロ内
第32回大会実行委員会事務局

TEL：03-3238-1689

FAX：03-3238-1837

E-mail：taikai32@kuba.jp

URL：http://www.kuba.co.jp/taikai32/

研究発表プログラム

6月12日(土)

- 9:00～ 開 場 (受付開始)
- 9:15～9:55 ポスター (◆P001～058、◆◇P 特 01) 掲示作業<11:00 まで可>
- 10:00～10:15 開会挨拶 実行委員長 若宮多門
- セッション I
10:15～10:30 <座長：雨森久晃 ((財) 元興寺文化財研究所)、佐野千絵 (東京文化財研究所) >
収蔵庫内の空気汚染物質に対する濃度指針の検討
○神庭信幸 (東京国立博物館)、荒木臣紀 (東京国立博物館)、和田浩 (東京国立博物館)、西邑雅未 (東京国立博物館)、中村恵子 (東京国立博物館)
- 10:30～10:45 木材から放散されるギ酸・酢酸の動的および静的定量法の開発
○瓦田研介 (東京都立産業技術研究センター)、栗田恵子 (東京都立産業技術研究センター)、浜野智子 (東京都立産業技術研究センター)、大橋亜沙美 (東京農工大学)、近江正陽 (東京農工大学)
- 10:45～11:00 小規模収蔵スペースや展示ケースの利用形態を考慮した環境改善装置の開発 2
～特別展示などによる来館者の急増が展示ケース内の環境に与える影響とその改善～
○松井敏也 (筑波大学)、市川佐織、新沼仁 (日本無機 (株))、増田竜司 (日本無機 (株))、中島文男 (日本無機 (株))、花田美穂 (米沢市上杉博物館)
- 11:00～11:15 阿修羅立像梱包箱の防振効果
○和田浩 (東京国立博物館)、神庭信幸 (東京国立博物館)、金子啓明 (東京国立博物館)、丸山士郎 (東京国立博物館)
- セッション II
11:20～11:35 <座長：犬塚将英 (東京文化財研究所)、高妻洋成 (奈良文化財研究所) >
保存施設稼働時の高松塚古墳石室内の温湿度変動の解析
～吸放熱パネルへの送水温度および入室が石室内温湿度変動に与える影響～
○小椋大輔 (京都大学)、銚井修一 (京都大学)、李永輝 (京都大学)、赤坂瞳 (京都大学)、石崎武志 (東京文化財研究所)
- 11:35～11:50 福島県、史跡・泉崎横穴の保存、修復、活用
嶋村一志 (福島県泉崎村教育委員会)、○西浦忠輝 (国士舘大学)、朽津信明 (東京文化財研究所)、菊地芳朗 (福島大学)
- 11:50～12:05 熊本県内における装飾古墳保存施設を対象としたモニタリング
○池田朋生 (熊本県立装飾古墳館)、菊川知美 (熊本県立装飾古墳館)、最上敏 (熊本県立装飾古墳館)、朽津信明 (東京文化財研究所)
- 12:05～12:20 木曾川左岸堤防「御囲堤」の築造と、河川伝統工法の歴史に関する研究
～河川防災の要、堤防と水制工～
○馬場慎一 (太栄コンサルティング (株))
- 12:20～13:20 ー昼食休憩ー
- 13:20～14:30 ポスターセッション (◆P001～058、◆◇P 特 01 解説)

- セッションⅢ**
14:30～14:45 《座長：早川泰弘（東京文化財研究所）、木川りか（東京文化財研究所）》
 化学試薬を用いた錆付け法により鉄地表面に生成する化合物の構造
 ○藤澤明（東京藝術大学）、北田正弘（東京藝術大学）、桐野文良（東京藝術大学）
- 14:45～15:00 **テラヘルツ波イメージングの文化財建造物調査への応用**
 ○福永香（情報通信研究機構）、高妻洋成（奈良文化財研究所）、
 金旻貞（京都大学）、藤井義久（京都大学）、藤原裕子（京都大学）
- 15:00～15:15 **分子生物学的手法による歴史的木造建築物の生物劣化調査**
 ○杉山智昭（北海道開拓記念館）、小林幸雄（北海道開拓記念館）、
 小林孝二（北海道開拓記念館）
- セッションⅣ**
15:15～15:30 《座長：村上隆（京都国立博物館）、三浦功美子（東北芸術工科大学）》
 被災文化財の保存処理事例 3 一穴水町指定明泉寺燈籠を対象に一
 ○日高真吾（国立民族学博物館）、園田直子（国立民族学博物館）、和高智美（和高巧芸）、
 川本耕三（（財）元興寺文化財研究所）、安居美幸（関西大学）、西澤英和（関西大学）
- 15:30～15:45 **大規模自然災害と文化財修理について**
 ○内田俊秀（京都造形芸術大学）
- 15:45～16:00 **身近な文化財の保存修理と活用の可能性**
 一岡山市出石地区 町家の再生修理から見たもの 修理依頼者となった修復者の心情一
 ○牧野隆夫（吉備文化財修復所）
- 16:00～16:15 **学会の行動規範と世界の文化財倫理規程**
 ○三浦定俊（（財）文化財虫害研究所）
- 16:15～17:00 **ポスター（◆P001～058）撤去作業**
- 17:00～18:00 **ポスター（◇P059～117）掲示作業可**
- 18:00～20:00 **懇親会（長良川国際会議場 4 階 大会議室）**

6月13日（日）

- セッションⅤ**
9:30～9:45 《座長：加藤雅人（東京文化財研究所）、長屋菜津子（愛知県美術館）》
 国立西洋美術館所蔵 油彩画 アレッサンドロ・ベドリ・マッツォーラ作
 「ウェヌスとアモル」 修復報告
 ○岡崎純生（岡崎絵画修復工房）
- 9:45～10:00 **「国宝 平等院鳳凰堂内 西面扉絵 日想観」の学術的復元模写による保存に関する研究**
 ○荒木恵信（金沢美術工芸大学）、寺田栄次郎（金沢美術工芸大学）、神居文彰（佛教大学）、
 早川泰弘（東京文化財研究所）、荒井経（東京藝術大学）、伊藤英高（金沢美術工芸大学）
- 10:00～10:15 **顔料剥落止めとして利用されたポリビニルアルコールの白化原因とその再現**
 ○岡田祐輔（信州大学）、川野辺渉（東京文化財研究所）、早川典子（東京文化財研究所）、
 坪倉早智子（東京文化財研究所）、中條利一郎（帝京科学大学）、藤松仁（信州大学）、
 平井利博（信州大学）

- セッションVI** ≪座長：北野信彦（東京文化財研究所）、園田直子（国立民族学博物館）≫
10:20～10:35 **初期合成染料の質量分析**
○佐々木良子（京都工芸繊維大学）、佐々木健（京都工芸繊維大学）
- 10:35～10:50** **蛍光分光分析法を用いた正倉院染織品における紅花染料の特定**
○中村力也（宮内庁正倉院事務所）、田中陽子（宮内庁正倉院事務所）、
尾形充彦（宮内庁正倉院事務所）、成瀬正和（宮内庁正倉院事務所）
- 10:50～11:05** **京都国立博物館所蔵 初代飯塚桃葉作 印籠の材質と製作技法**
○村上隆（京都国立博物館）、永島明子（京都国立博物館）
- 11:05～11:20** **妙心寺所蔵「山水楼閣人物図螺鈿扉」の修理と知見**
○北村繁（京都造形芸術大学）、岡田文男（京都造形芸術大学）、北村謙一（昭齋）
- 11:20～11:30** ー休憩ー
- 11:30～12:30** **2010 年度総会（正会員、名誉会員のみ）**
- 12:30～13:30** ー昼食休憩ー
- 13:30～14:40** **ポスターセッション（◇P059～117、◆◇P 特 01 解説）**
(14:40～16:00 機器等展示撤去作業)
- セッションVII** ≪座長：大林賢太郎（京都造形芸術大学）、藤岡春樹（(株) 光影堂）≫
14:40～14:55 **浮世絵顔料フェロシアン化鉄による和紙の化学変化 IIーウロン酸量の変化ー**
○貴田啓子（東京藝術大学）、稲葉政満（東京藝術大学）
- 14:55～15:10** **熱による中国宣紙の促進劣化処理**
ー経年変化した紙および促進劣化処理セルロースとの物性比較ー
○松尾美幸（京都大学生存圏研究所）、梅村研二（京都大学生存圏研究所）、
杭迫柏樹（日展常務理事）、川井秀一（京都大学生存圏研究所）
- 15:10～15:25** **ペーパースプリットマシンプロトタイプによる強化処理と劣化評価**
○関正純（高知県立紙産業技術センター）、園田直子（国立民族学博物館）、
日高真吾（国立民族学博物館）、岡山隆之（東京農工大学）、吉永浩和（東京農工大学）
- 15:25～15:30** **閉会挨拶** 理事長 三輪 嘉六
- 15:30～16:00** **ポスター（◇P059～117、◆◇P 特 01）撤去作業<14:40 から可>**

ポスターセッション

6月12日(土)

- ◆P001 油性エマルジョンを使用した板絵の洗浄の修復事例
○寺田祐吉枝(山領絵画修復工房)、山領まり(山領絵画修復工房)
- ◆P002 三次元励起蛍光スペクトル法によるワニスの劣化調査の有効性
○中安知佳(東京藝術大学)、木島隆康(東京藝術大学)
- ◆P003 油彩画における画布に関する考察～麻と綿の比較を中心に～
○加藤広樹(東京藝術大学)、木島隆康(東京藝術大学)
- ◆P004 絵画に生じた劣化生成物に関する考察—油画およびアクリル絵画の事例をもとに—
○鈴嶋富士子(東京藝術大学)、秋山純子(東京藝術大学)、蔵品真理(東京藝術大学)
- ◆P005 ≪事例報告≫両界曼荼羅図(東京国立博物館蔵)の解体修理について
○沖本明子(東京国立博物館)、土屋裕子(東京国立博物館)、神庭信幸(東京国立博物館)、鈴木晴彦(東京国立博物館)、米倉乙世(東京国立博物館)
- ◆P006 —高清水ハリストス正教会所蔵—山下りん イコン《生神女福音図及び四福音記者》修復報告
○鈴嶋富士子(東京藝術大学)、木島隆康(東京藝術大学)、田中智恵子(修復研究所21)、宮田順一(修復研究所21)、古賀路子
- ◆P007 琉球絵画の技法材料研究
○鷹野佳世子(東京藝術大学)
- ◆P008 レンブラント作『トゥルプ博士の解剖学講義』の絵画技法研究
○土師広(東京藝術大学)、木島隆康(東京藝術大学)
- ◆P009 油画修復における旧裏打ち材の除去について
○キムナラ(東京藝術大学)、木島隆康(東京藝術大学)
- ◆P010 千葉勝作品の素材・技法調査と修復
大川美香((株)絵画保存研究所)、○小谷野匡子((株)絵画保存研究所)、福田誠((株)絵画保存研究所)、永窪啓紀((株)絵画保存研究所)、二宮修治(東京学芸大学)、小川絢子(東京学芸大学)、佐藤香子(東京学芸大学)、新免歳靖(総合研究大学院大学)
- ◆P011 「涅槃図」の絵画表現技法研究
○棚橋映水(吉備国際大学)
- ◆P012 江戸期～明治期洋画の基礎的資料の考察Ⅲ 光学調査による明治期油画の描画表現と修復
○尾形純((株)ディヴォート)、住友慎一((株)住友資料館)、山野順生((株)ディヴォート)
- ◆P013 戦時下に描かれた絵画(Ⅰ)—女流画家・長谷川春子作「少婦國を防ぐ」調査と周辺—
○尾形純((株)ディヴォート)、住友慎一((株)住友資料館)、山野順生((株)ディヴォート)
- ◆P014 熊谷守一 初期油彩画の技法材料について
○松岡未紗(東京藝術大学)、木島隆康(東京藝術大学)

- ◆P015 油彩画の材料・技法に関する共同調査－東京藝術大学と東京国立博物館の学術共同調査－
木島隆康（東京藝術大学）、鈴木富士子（東京藝術大学）、神庭信幸（東京国立博物館）、
○土屋裕子（東京国立博物館）

- ◆P016 立山曼荼羅の自然科学的研究－糸魚川市金蔵院所蔵本の場合－
○大久保治（(財)元興寺文化財研究所）、山田卓司（(財)元興寺文化財研究所）、
高橋平明（(財)元興寺文化財研究所）、福江充（富山県 [立山博物館]）

- ◆P017 東京農工大学科学博物館所蔵浮世絵の色材調査－明治期の錦絵に使用された色材について－
○松島朝秀（東京農工大学科学博物館）、中澤靖元（東京農工大学科学博物館）、
吉田直人（東京文化財研究所）

- ◆P018 油絵具とアクリル絵具の色材ごとのカビ繁殖比較
○福田安住（(株)エフシージー総合研究所）、上野淑美（(株)シー・アール・エス）、
橋本一浩（(株)エフシージー総合研究所）、川上裕司（(株)エフシージー総合研究所）

- ◆P019 蔵王温泉のガスによる屋外文化財の変化に関する自然科学的分析とその保存修復
○米村祥央（東北芸術工科大学）、○岡田靖（東北芸術工科大学）、○藤原徹（東北芸術工科大学）

- ◆P020 文化財を収納する保存箱の環境の評価方法について
○佐野千絵（東京文化財研究所）、呂俊民（東京文化財研究所）

- ◆P021 のぞき型展示ケース（汚染物質・調湿）の適性化のための実践
○青木睦（国文学研究資料館）、三浦麻衣子（前東京学芸大学）、広瀬真紀（国文学研究資料館）、
佐藤崇（国文学研究資料館）

- ◆P022 書物から発生するガスの空気環境への影響
○呂俊民（東京文化財研究所）、佐野千絵（東京文化財研究所）

- ◆P023 ベイスギ VOC 除去剤共存下での GC-MS 分析による除去能評価
○及川規（東北歴史博物館）、米村祥央（東北芸術工科大学）

- ◆P024 収蔵庫内の温湿度環境とスチール棚の表面温度との関係の実測例
○犬塚将英（東京文化財研究所）、多比羅菜美子（根津美術館）、佐野千絵（東京文化財研究所）

- ◆P025 保存施設稼働時の高松塚古墳石室内の温湿度変動の解析
～墳丘部表面の植生等の変化が石室内温度変動に与える影響～
李永輝（京都大学）、鈴木修一（京都大学）、○小椋大輔（京都大学）、
石崎武志（東京文化財研究所）

- ◆P026 角礫凝灰岩の乾燥過程のシミュレーション解析
○石崎武志（東京文化財研究所）、犬塚将英（東京文化財研究所）、
ルドルフ・プラーゲ（ドレスデン工科大学）

- ◆P027 森美術館 53 階展示室内における温湿度管理－空調機用無線温湿度センサーの運用－
○相澤邦彦（森美術館）、山本智代（森美術館）

- ◆P028 無線式多点計測からわかった国立西洋美術館本館の温湿度分布
○高嶋美穂（国立西洋美術館）、小泉圭吾（大阪大学）

- ◆P029 歴史的近代建造物における展示室と収蔵庫の環境改善（第5報）
－（財）神山復生病院・復生記念館を例として
○武田昭子（昭和女子大学）、森下裕子（復生記念館）、宮野秋彦（名古屋工業大学）
- ◆P030 文化財公開施設等における ATP 拭き取り検査の活用について
○間渕創（東京文化財研究所）、木川りか（東京文化財研究所）、佐野千絵（東京文化財研究所）
- ◆P031 博物館における環境ボランティアの取り組み その5－九州国立博物館の IPM 活動 11－
○本田光子（九州国立博物館）、上野知彦（九州国立博物館）、山崎久美子（九州国立博物館）、
藤田可奈子（九州国立博物館）、的場康彦（九州国立博物館ボランティア）、
内田祥乃（九州国立博物館ボランティア）
- ◆P032 九州国立博物館の環境マネジメント その7－博物館における IPM 活動の展望－
○本田光子（九州国立博物館）、森田稔（九州国立博物館）、三輪嘉六（九州国立博物館）
- ◆P033 資料に付属する木箱の IPM メンテナンスについて
○森田レイ子（NPO 法人文化財保存活用支援センター）、
小島理美（NPO 法人文化財保存活用支援センター）、松本理栄子（(株) タクト）、
本田光子（九州国立博物館）、臺信祐爾（九州国立博物館）、畑靖紀（九州国立博物館）
- ◆P034 MLA における IPM 活動の新しい実践と指向
青木睦（国文学研究資料館）、○広瀬真紀（国文学研究資料館）
- ◆P035 文化財関連施設の IPM モニタリング ーダスト観察の有用性－
○下川可容子（(株) タクト）、森田レイ子（NPO 法人文化財保存活用支援センター）、
新原茂春（NPO 法人ミュージアム IPM サポートセンター）、本田光子（九州国立博物館）、
小林公治（九州国立博物館）、臺信祐爾（九州国立博物館）
- ◆P036 文化財および資料保存に用いられる材料の、カビの生えるまでの期間に関する調査
○齊藤智（(株) 竹中工務店）、呂俊民（東京文化財研究所）、内呂博之（ポーラ美術館）、
荒屋鋪透（ポーラ美術館）
- ◆P037 ポーラ美術館における害虫管理と捕虫システムの構築
○宮田弘樹（(株) 竹中工務店）、呂俊民（東京文化財研究所）、内呂博之（ポーラ美術館）、
荒屋鋪透（ポーラ美術館）
- ◆P038 国立民族学博物館における虫害傾向の分析－生物生息調査分析システムの応用－
園田直子（国立民族学博物館）、日高真吾（国立民族学博物館）、○和高智美（和高巧芸）
- ◆P039 害虫処理における窒素殺虫・空気清浄と調湿機能付棚の活用
○青木睦（国文学研究資料館）、石井めぐみ（国文学研究資料館）、和田玲子（国文学研究資料館）、
広瀬真紀（国文学研究資料館）
- ◆P040 木酢液の殺虫活性に関する研究
○鄭美和（国立文化財研究所〔韓国〕）、洪鎮英（国立文化財研究所〔韓国〕）、
韓旼洙（国立文化財研究所〔韓国〕）

- ◆P041 X線CTによる被害材の調査(2)ー害虫活動の検出ー
○鳥越俊行(九州国立博物館)、木川りか(東京文化財研究所)、今津節生(九州国立博物館)、
本田光子(九州国立博物館)、原田正彦((財)日光社寺文化財保存会)、
小峰幸夫((財)文化財虫害研究所)、川野邊渉(東京文化財研究所)
- ◆P042 劣化したシアノタイプの修復(2)ーアルカリによるシアノタイプの劣化・再発色実験ー
○坪倉早智子(東京文化財研究所)、加藤雅人(東京文化財研究所)、中山俊介(東京文化財研究所)
- ◆P043 コロタイプ印刷の耐オゾン性～インクジェットプリントと比較して～
○山口孝子(東京都写真美術館)、大川祐輔(千葉大学)
- ◆P044 経年劣化紙資料の加速劣化試験ー80℃、65%rh条件での物性と色の変化ー
○李壘(東京藝術大学)、稲葉政満(東京藝術大学)
- ◆P045 キハダ染め料紙の強制退変色に関する考察
ー打紙加工のキハダ染め古写経料紙に対する補修紙作成を目的とした試みー
○松枝礼子((株)松鶴堂)、森川洋子((株)松鶴堂)、加藤雅人(東京文化財研究所)、
坂本昭二(龍谷大学古典籍デジタルアーカイブ研究センター)、
江南和幸(龍谷大学古典籍デジタルアーカイブ研究センター)
- ◆P046 墨のにじみへ及ぼす水の硬度の影響
○甲斐由香里(東京藝術大学)、稲葉政満(東京藝術大学)
- ◆P047 卵黄+膠水を使用してスムーズに日本画の画面上に印を押す方法
○張淑徳(高雄醫學大學)
- ◆P048 中国産竹紙の保存性ー生料紙の湿熱劣化処理による物性変化ー
○謝謹誠(東京藝術大学)、稲葉政満(東京藝術大学)、陳剛(復旦大学)
- ◆P049 中国伝統書画紙の実地調査と修理の実例～宣紙
沓名弘美(中国美術学院)、山口聰太郎((株)墨仁堂)、○友田千恵((株)墨仁堂)
- ◆P050 脆弱化した資料のリーフキャストによる修復
有友至(国立公文書館)、中島郁子(国立公文書館)、○阿久津智広(国立公文書館)
- ◆P051 地域に伝存する書画文化財の保存状態調査～山形市における指定文化財を対象として～
○大山龍頭(東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター)、
半田正博(東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター)
- ◆P052 火災被害古文書の紙繊維の劣化状態調査の事例
○三浦功美子(東北芸術工科大学)、水口友紀(東北芸術工科大学)、大山龍頭(東北芸術工科大学)、
山田育実(東北芸術工科大学)
- ◆P053 火災被害古文書の保存修復の事例
○三浦功美子(東北芸術工科大学)、永井泊(東北芸術工科大学)、大山龍頭(東北芸術工科大学)、
山田育実(東北芸術工科大学)
- ◆P054 固着塗工紙境界面に関する保存科学的基礎研究
○手代木美穂(東北芸術工科大学)、小味浩之(東北芸術工科大学)

◆P055 被災した近現代歴史資料の救済のための簡便な真空凍結乾燥法の開発③

- 村田忠繁（九州国立博物館）、川本耕三（（財）元興寺文化財研究所）、
大久保治（（財）元興寺文化財研究所）

◆P056 紙資料の保全を目的とした機能的な展示用装丁の開発

－多様な形態の紙資料に対応した展示に於いて－

- 鈴木晴彦（東京国立博物館）、米倉乙世（東京国立博物館）、沖本明子（東京国立博物館）、
神庭信幸（東京国立博物館）、土屋裕子（東京国立博物館）

◆P057 蛍光X線分析による泥入間似合紙の材質調査

- 二宮修治（東京学芸大学）、青木睦（国文学研究資料館）、坂上恵梨（東京学芸大学）、
吉岡美也子（東京学芸大学）、広瀬真紀（国文学研究資料館）、佐藤香子（東京学芸大学）、
三浦麻衣子（前東京学芸大学）

◆P058 いわゆる流漉と溜漉について

- 増田勝彦（昭和女子大学）

6月13日（日）

◇P059 エジプト ケントカウエス女王墓の三次元計測

- 岡本篤志（筑波大学）、亀井宏行（東京工業大学）、塚本敏夫（（財）元興寺文化財研究所）、
金谷一朗（大阪大学）、河江肖剰（Ancient Egypt Research Associates）

◇P060 古代ローマ都市遺跡の列柱道路の保存修復に関する研究〔Ⅱ〕

－形状測定によるパターン解析（2）－

- 小野勇（国士舘大学）、西浦忠輝（国士舘大学）、松本健（国士舘大学）

◇P061 アジャンター遺跡における環境調査

- 宇野朋子（東京文化財研究所（元））、島津美子（東京文化財研究所）

◇P062 バーミヤーン仏教壁画における彩色技法・彩色材料に関する研究

－N(a)窟天井壁画の復元模写を中心として－

- 佐藤由季（東京藝術大学）、木島隆康（東京藝術大学）、佐藤一郎（東京藝術大学）、
工藤晴也（東京藝術大学）、前田耕作（和光大学）、谷口陽子（筑波大学）

◇P063 タジキスタン国立古代博物館におけるソグド壁画の保存修復 2

－壁画断片群のマウントと展示までの処置－

- 松岡秋子（東京文化財研究所）、島津美子（東京文化財研究所）、増田久美（東京藝術大学）

◇P064 アフガニスタン流出仏教壁画片の調査と修復（3）

- 木島隆康（東京藝術大学）、佐藤一郎（東京藝術大学）、工藤晴也（東京藝術大学）、
増田久美（東京藝術大学）、鈴嶋富士子（東京藝術大学）、谷口陽子（筑波大学）、
中右恵理子（東京文化財研究所）、武田恵理、池上久美、古賀路子、
酒井良次（サカセ・アドテック（株））

◇P065 アフガニスタン仏教壁画の絵画技法・絵画材料の研究 ー想定復元模写を通してー

- 木島隆康（東京藝術大学）、佐藤一郎（東京藝術大学）、工藤晴也（東京藝術大学）、
谷口陽子（筑波大学）、椎葉聡子、古賀路子

- ◇P066 敦煌莫高窟第 285 窟南壁に描かれた龕楣の図案と色彩表現
○高林弘実（東京文化財研究所）、于宗仁（敦煌研究院保護研究所）、崔強（敦煌研究院保護研究所）、張文元（敦煌研究院保護研究所）、岡田健（東京文化財研究所）
- ◇P067 敦煌莫高窟第 285 窟北壁に描かれた如来および菩薩に用いられた彩色材料と技法
—衣と頭光の表現—
○佐藤香子（東京学芸大学）、高林弘実（東京文化財研究所）、于宗仁（敦煌研究院保護研究所）、崔強（敦煌研究院保護研究所）、張文元（敦煌研究院保護研究所）、岡田健（東京文化財研究所）
- ◇P068 バーミヤーン仏教壁画に使用されている有機物質：GC/MS と ELISA 法を用いた分析
○谷口陽子（筑波大学）、Joy Mazurek（ゲティ保存研究所）
- ◇P069 Study on Morphological Characteristics of Ancient Pigments in Korea
○洪鐘郁（国立文化財研究所〔韓国〕）、李漢亨（国立文化財研究所〔韓国〕）、金秀京（国立文化財研究所〔韓国〕）、文恩丁（国立文化財研究所〔韓国〕）
- ◇P070 ウズベキスタン共和国ジャルテパ寺院より出土した織物について
○村上智見（奈良大学）、宇野隆夫（国際日本文化研究センター）
- ◇P071 渡来唐棧布（江戸後期）に用いられた橙色鉱物染料の木綿繊維内分布
○杉岡奈穂子（東京藝術大学）、北田正弘（東京藝術大学）
- ◇P072 雛人形衣裳に使用された金銀糸・引き箔の現状と劣化機構に関する研究
○安達江梨（東北芸術工科大学）、手代木美穂（東北芸術工科大学）
- ◇P073 杉野学園衣裳博物館における西洋衣裳の保存と活用—西洋衣裳の立体保存への試み—
○隅田登紀子（杉野服飾大学）、田中祐（（有）資料保存器材）
- ◇P074 藕糸袈裟の染織技法に関する調査
○小村眞理（（財）元興寺文化財研究所）、井上美知子（（財）元興寺文化財研究所）、木沢直子（（財）元興寺文化財研究所）、志村明（勝山織物（株）絹織製作研究所）、角浦節子（竹笈研究会）、佐藤昌憲（奈良文化財研究所）
- ◇P075 明治時代末期の捺染裂の調査（京都工芸繊維大学美術工芸資料館所蔵染織品の調査 5）
○佐々木良子（京都工芸繊維大学）、萩原理一（京都工芸繊維大学）、生谷吉男（京都工芸繊維大学）、梶原俊明（京都工芸繊維大学）、藤井健三（京都工芸繊維大学）、並木誠士（京都工芸繊維大学）、浦川宏（京都工芸繊維大学）、森本一成（京都工芸繊維大学）、佐々木健（京都工芸繊維大学）
- ◇P076 布資料の保存と保管方法について—新潟県十日町市柳染工所ろうけつ染め見本を例に—
○石井里佳（（財）元興寺文化財研究所）、伊達仁美（京都造形芸術大学）、萩田小百合（京都造形芸術大学）、下田かさね（京都造形芸術大学）、大島幸子（京都造形芸術大学）、高橋由美子（新潟県十日町情報館）、日高真吾（国立民族学博物館）
- ◇P077 幕末に製造された洋式銃（管打銃）の表面処理層と腐食層
○田中眞奈子（東京藝術大学）、北田正弘（東京藝術大学名誉教授）
- ◇P078 高麗時代の青銅貨・海東通寶（ヘドントンボ）の微細構造と表面腐食
○崔禎恩（東京藝術大学）、北田正弘（東京藝術大学）

- ◇P079 脆弱な出土金属製品を取り上げる際の保護処置の一手法
ー有機溶剤に対する溶解性が異なるアクリル樹脂の利用ー
○今西寿光（(株) 京都科学）、越野恵子（(株) 京都科学）、小松譲（佐賀県教育庁）
- ◇P080 椿油塗布による防錆効果の研究（Ⅱ）ー収蔵施設内での防錆効果の検証ー
○伊達仁美（京都造形芸術大学）、五十嵐美幸
- ◇P081 江戸時代製鎧の骨牌札（かるたざね）に使われた鋼板の金属組織
○釘屋奈都子（東京藝術大学）、北田正弘（東京藝術大学名誉教授）、桐野文良（東京藝術大学）
- ◇P082 東京大学追分国際宿舎（組屋敷跡）から出土した剪定鋏の保存処理と展示
○原祐一（東京大学）、石原道知（武蔵野文化財修復研究所）、堀内秀樹（東京大学）
- ◇P083 緑青付けにより生成した着色層の色彩に関する保存科学的研究
○實井香那子（東京藝術大学）
- ◇P084 陶磁器のカラーフィルによる欠損箇所の充填テクニックの事例
○佐野智恵子（工房いにしへ）、成田英里（工房いにしへ）
- ◇P085 笏谷石狛犬に見られる彩色塗装
○朽津信明（東京文化財研究所）
- ◇P086 やぐらの劣化と記録保存への取り組み
○星野玲子（鶴見大学）、永田勝久
- ◇P087 超音波・赤外特性による石造文化財のクロス診断法の開発ー磨崖仏の吸水特性を中心に
○張大石（東北芸術工科大学）、西浦忠輝（国土舘大学）
- ◇P088 京都大学総合博物館所蔵 庵寺山古墳出土靱形埴輪の保存修理
○江野朋子（(財) 元興寺文化財研究所）、浜田隆司（(財) 元興寺文化財研究所）、
塚本敏夫（(財) 元興寺文化財研究所）、阪口英毅（京都大学）
- ◇P089 宮の原貝塚出土縄文土器修復について（武蔵野美術大学所蔵の縄文時代中期の土器修復事例）
○石原道知（武蔵野文化財修復研究所）、神野善治（武蔵野美術大学）、鈴木希帆（武蔵野美術大学）
- ◇P090 内蒙古自治区吐爾基山遼墓出土彩色木棺の保存 3
○今津節生（九州国立博物館）、塔拉（内蒙古文物考古研究所）、孫建華（内蒙古文物考古研究所）、
李威（内蒙古文物考古研究所）、亀井亮子（(株) 岡墨光堂）
- ◇P091 **The Correlation of Hardness with Chemical Composition and Firing Temperature of Earthenwares**
○李漢亨（国立文化財研究所〔韓国〕）、金秀京（国立文化財研究所〔韓国〕）、
文恩丁（国立文化財研究所〔韓国〕）、洪鐘郁（国立文化財研究所〔韓国〕）
- ◇P092 劣化した漆塗膜の耐熱性と、加熱作業が経年変化に与える影響
○大西智洋（目白漆芸文化財研究所）、松井敏也（筑波大学）
- ◇P093 国宝 初音の調度の X 線 CT 調査
小池富雄（徳川美術館）、川畑憲子（九州国立博物館）、○鳥越俊行（九州国立博物館）、
今津節生（九州国立博物館）

- ◇P094 素材としての紫鋺
○谷麻理
- ◇P095 漆塗膜および漆液構成成分の抗菌性・抗カビ性
○小川俊夫（金沢工業大学）、小川太（金沢工業大学）、神田秀平（金沢工業大学）
- ◇P096 新海竹蔵「結髪」保存修復処置報告
○藤原徹（東北芸術工科大学）、福島茜（東北芸術工科大学）
- ◇P097 静岡県指定文化財中野観音堂千手観音立像の保存修理報告
—修理基本方針「形体完備」と修理後の保存意識高揚の確認—
○牧野隆夫（吉備文化財修復所）、佐藤健彦（吉備文化財修復所）、小室綾（吉備文化財修復所）、
牧野麗（吉備文化財修復所）、李相敏（東北芸術工科大学）
- ◇P098 満福寺所蔵 木造毘沙門天立像修復について
○那須川善男（(株) 京都科学）
- ◇P099 彫刻修復における量的補填措置が美術性に及ぼす影響
○秋田貴廣（立正大学）、伊加利庄平（立正大学）、野坂知世（立正大学）、笹岡直美（立正大学）、
岡田靖（東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター）
- ◇P100 仏像のリフォーム技術の考察と再構築
○横川耕介（愛知仏像修復工房）、山口政良、進藤久美子
- ◇P101 仏像の安置における、間隙部材の活用例 三重県指定文化財「心証寺薬師如来坐像」修理報告から
○横川耕介（愛知仏像修復工房）、山口政良
- ◇P102 布に付着した鉄錆の電解除錆法—現代美術作品への応用
○森田恒之（愛知県立芸術大学）、本間桃世（(有) ABRF）、光井清陽（(株) 秋山工房）
- ◇P103 手彫切手に使用された印刷インキ中の色素成分の分析（第2報）
○荒木修喜（名古屋工業大学）、近藤瑛美（名古屋工業大学）、平下恒久（名古屋工業大学）、
村瀬由明（名古屋市工業研究所）、山口浩一（名古屋市工業研究所）、
松本宏紀（名古屋市工業研究所）
- ◇P104 調査撮影の新たな指標となるカラーチャートの提案
○濱谷聖（アーク）
- ◇P105 近赤外線 LED を光源とした資料撮影で得られる情報
○吉田直人（東京文化財研究所）、間瀬創（東京文化財研究所）
- ◇P106 文化財の複製品作成における手法の検討
○大島孝博（(株) 地域みらい）
- ◇P107 金属製遺物に付随する乾燥木材の樹種同定—刀剣類の柄と鞘の用材選択—
○西尾太加二（静岡県埋蔵文化財調査研究所）
- ◇P108 文化財指定建造物における用材樹種調査（Ⅱ）高台寺 傘亭・時雨亭を事例として
○横山操（京大大学生存圏研究所）、杉山淳司（京大大学生存圏研究所）、能城修一（森林総合研究所）、
藤井智之（森林総合研究所）、伊東隆夫（奈良文化財研究所）、川井秀一（京大大学生存圏研究所）

- ◇P109 文化財保存修復に用いる和膠の生産研究と今後の展望
○山内章（(財)元興寺文化財研究所）、木下雅代（(財)元興寺文化財研究所）
- ◇P110 綿臙脂の諸問題について－中国雲南省における調査を中心に－
○杳名弘美（中国美術学院）、○杳名貴彦（山梨県立博物館）
- ◇P111 装幀文化財における銀焼けに関する研究
○高木佐知子（京都造形芸術大学）、大林賢太郎（京都造形芸術大学）
- ◇P112 史料にみる飛鳥～奈良時代の掛軸
○青木留美子（国立国会図書館）
- ◇P113 古文書・古典籍の修復と装幀形態に関する用語データベース
○加藤雅人（東京文化財研究所）、川野邊渉（東京文化財研究所）
- ◇P114 書見台の新案と活用例－安全に展示するための工夫－
○米倉乙世（東京国立博物館）、鈴木晴彦（東京国立博物館）、沖本明子（東京国立博物館）、
神庭信幸（東京国立博物館）、土屋裕子（東京国立博物館）
- ◇P115 阿修羅立像の梱包技術
○神庭信幸（東京国立博物館）、和田浩（東京国立博物館）、金子啓明（東京国立博物館）、
丸山士郎（東京国立博物館）
- ◇P116 博物館における包括的保存システムの構築に関する研究（その2）
○神庭信幸（東京国立博物館）、和田浩（東京国立博物館）、荒木臣紀（東京国立博物館）、
土屋裕子（東京国立博物館）、大場詩野子（東京国立博物館）、大河原典子（東京国立博物館）
- ◇P117 一博物館における保存活動、試行と実践例について
○田村哲（愛知県陶磁資料館）
- ◆◇P特1 2009年度の活動報告－兵庫県佐用町、山口県防府市の水害で被災した文化財の救援活動－
災害対策調査部会（委員：内田俊秀、中村晋也、日高真吾、松田泰典、村上隆、村田忠繁、森田稔）

文化財保存修復学会第32回大会 in 岐阜

実行委員会

- 委員長 若宮多門（岐阜県博物館協会会長）
副委員長 森田 稔（九州国立博物館）／村上 隆（京都国立博物館）
委員 井口智子（名古屋ボストン美術館）／可児光生（美濃加茂市民ミュージアム）
黒田隆志（岐阜市歴史博物館）／田中善明（三重県立美術館）
田村 哲（愛知県陶磁資料館）／長屋菜津子（愛知県美術館）

プログラム作成委員会

- 委員長 石崎武志（東京文化財研究所）
副委員長 二宮修治（東京学芸大学）
委員 加藤雅人（東京文化財研究所）／木川りか（東京文化財研究所）
木島隆康（東京芸術大学）／高妻洋成（奈良文化財研究所）
中村力也（宮内庁正倉院事務所）／日高真吾（国立民族学博物館）
藤岡春樹（(株)光影堂）／村上 隆（京都国立博物館）

会場案内

長良川国際会議場



【鉄道】

- ◆ JR 名古屋駅 ⇒ JR 岐阜駅 新快速 18分
- ◆ 名鉄名古屋駅 ⇒ 名鉄岐阜駅 特急 25分
- ◆ 中部国際空港 ⇒ 名鉄岐阜駅 特急 55分

【(JR 岐阜駅・名鉄岐阜駅より) バス】

- ◆ 「K51 三田洞団地」行き他、行き先番号「K50」「K51」(JR 岐阜駅前 10 乗り場 / 名鉄岐阜駅前 ⑤ 乗り場)
「長良川国際会議場前」下車 徒歩 1分 (所要時間約 20分)
 - ◆ 「市内ループ左回り」(JR 岐阜駅前 10 乗り場 / 名鉄岐阜駅前 ④ 乗り場)
「長良川国際会議場北口」下車 徒歩 3分 (所要時間約 20分)
- ※7時～22時までは約10分間隔で運行しております。

【タクシー】

- ◆ JR 岐阜駅、名鉄岐阜駅から約 10～15分

実行委員会事務局：〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-15 UEDA ビル 6F (株)クバプロ内
 第32回大会実行委員会事務局
 TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837
 E-mail：taikai32@kuba.jp URL：http://www.kuba.co.jp/taikai32/